



# TOUR DE HOKKAIDO

## ツール・ド・北海道2016の概要

### 1 ツール・ド・北海道

1987年10月に日本最初のステージレースとしてツール・ド・北海道大会が開催されてから今回で30回目を迎えました。第11回大会からは、国際自転車競技連合(UCI)の公認大会として承認され、国際大会としても20回目を迎え、いまや国内有数のステージレースになっております。ツール・ド・北海道には、海外からも多数のチームが参加を希望するなど定評ある大会となっており、いわば「ツール・ド・フランス」の日本版でもあります。

競技は1チーム5人のチーム成績と個人成績の両方を争うステージレースであり、海外、国内の各チームの選手は、団体優勝を狙うのは勿論、チームのエースに個人総合時間賞を獲得させようと、様々な作戦でレースを展開します。

また、多くのサイクリストが参加する市民ロードレースも同時開催し、地域の活性化を図るとともにこの大会を盛り上げています。



2015大会 当麻町郊外

### 2 大会概要と日程

ツール・ド・北海道2016は、道央地域において9月1日(木)から3日(土)までの3日間で4ステージを開催します。

初日の9月1日(木)は、札幌市豊平区の「豊平川河川敷地特設会場(南七条大橋付近)」において出発式を行った後、第1ステージの個人タイムトライアルを行います。また、同日午後からは、第2ステージのロードレースを行います。札幌市南区の「アパホテル&リゾート札幌前」からスタートし、定山溪、小樽市朝里川温泉街、赤井川村を経て倶知安町(公民館手前)でフィニッシュする111kmのコースです。

翌日、9月2日(金)の第3ステージは、倶知安町(ヒラフスキー場前)からスタートし、共和町、蘭越町、ニセコ町、京極町、真狩村などを経てスタート地点の倶知安町(ヒラフスキー場前)に戻ってフィニッシュする180kmのコースです。

そして最終日、9月3日(土)の第4ステージは、倶知安町(ヒラフスキー場前)からスタートして蘭越町、真狩村、洞爺湖町、千歳市、恵庭市などを経て札幌市南区の「真駒内公園(セキスイハイムスタジアム前)」でフィニッシュする219kmのロードレースを行い、全ての日程を終えます。国内では唯一、大自然の中を町から町へと公道を使用して巡る本格的な自転車ステージレースであり、3日間の総走行距離は511kmに及びます。

## 本大会の詳細日程は、次のとおりです。

### 《ステージレース》

#### ■ 開催期間

9月1日(木)から3日(土)までの3日間

#### ■ 出発式

9月1日(木) 8時00分～8時15分

札幌市豊平区「豊平川河川敷地特設会場」  
(南七条大橋付近)

#### ■ 各ステージの日程

- 第1ステージ(個人タイムトライアル) 9月1日(木) (1km)
- 第2ステージ(ロードレース) 9月1日(木) (111km)  
札幌市南区(S:アパホテル&リゾート札幌前)～小樽市～赤井川村～倶知安町  
(F:倶知安町公民館手前)
- 第3ステージ(ロードレース) 9月2日(金) (180km)  
倶知安町(S:ヒラフスキー場前)～共和町～蘭越町～ニセコ町～倶知安町～京極町～  
喜茂別町～真狩村～ニセコ町～倶知安町(F:ヒラフスキー場前)
- 第4ステージ(ロードレース) 9月3日(土) (219km)  
倶知安町(S:ヒラフスキー場前)～ニセコ町～蘭越町～ニセコ町～真狩村～豊浦町～  
洞爺湖町～壮瞥町～伊達市～千歳市～苫小牧市～恵庭市～札幌市南区(F:真駒内公園  
セキスイハイムスタジアム前)

#### ■ 出場予定チーム

海外及び国内から合計20チーム、100名の選手の出場を予定しています。

#### ■ 表彰式

第1、第2ステージは第2ステージ終了後、倶知安町公民館前特設会場において、第3ステージは倶知安町ヒラフスキー場前特設会場においてフィニッシュ後に行います。第4ステージは最終表彰式実施の日時、場所において、最終表彰式に先立ち行います。

#### ■ 最終表彰式

9月3日(土) 18時00分～19時30分

札幌市南区「アパホテル&リゾート札幌特設会場」



### 各ステージの概要

#### ○ 第1ステージ

大会初日の9月1日(木)第1ステージは、札幌市豊平区の「豊平川河川敷地」において、南七条大橋付近から豊平川上流方向に1kmの特設コースで個人タイムトライアルを行います。フラットなコースを1分間隔で一人ずつスタートし、個人のベストタイムを競います。

#### ○ 第2ステージ

第2ステージは、札幌市南区の「アパホテル&リゾート札幌前」からスタートして、硬石山の麓から八剣山トンネルを抜け、小金湯温泉前から国道230号に入り、定山溪から道道1号(小樽定山溪線)を走ります。朝里峠トンネル手前(標高672m)で最初の山岳ポイントを競

った後、朝里川温泉街から道道956号に入り、望洋台大橋先において中間スプリントを競います。その後、カーブが連続する国道393号(通称：メープル街道393)を登って毛無峠(標高658m)で本ステージ二度目の山岳ポイントを競います。そして「美しい村」赤井川村のキロロリゾート前を通過し、樺立トンネルを抜けて倶知安町(公民館手前)でフィニッシュする111kmのコースです。

### ○ 第3ステージ

第3ステージは、倶知安町(ヒラフスキー場前)からスタートして道道343号(蘭越ニセコ倶知安線)からニセコHANAZONOリゾート、共和町老古美地区を通過して道道268号(岩内蘭越線)に入り、今大会最大の難所、新見峠(標高747m)で山岳ポイントを競います。峠から日本海に突き当たるまで一気に駆け下りた後、再び山間部に向かって道道267号(磯谷蘭越線)を尻別川沿いに走り、蘭越町から平坦基調の国道5号を疾走して倶知安町から道道478号に入ります。倶知安町富士見の「羊蹄山蕎麦店」前で中間スプリントを競った後、倶知安町豊岡東3号から寒別の国道276号を經由して京極町市街地の京極橋、目名橋を渡り、道道97号を通過して真狩村から道道66号を駆け抜け、別名「蝦夷富士」とも呼ばれる「羊蹄山(標高1,898m)」の麓を時計回りに一周してスタート地点の倶知安町(ヒラフスキー場前)に戻ってフィニッシュします。(180km)



### ○ 第4ステージ

第4ステージは、倶知安町(ヒラフスキー場前)をスタート、道道58号(倶知安ニセコ線)を五色温泉に向かって走り、ニセコ町との境界手前(標高797m)で本ステージ最初の山岳ポイントを競います。その後、道道66号(通称：ニセコパノラマライン)に入り、ニセコ湯の里温泉を経てニセコ大橋を渡り、「JA真狩前」で中間スプリントを競った後、豊浦町を抜けて洞爺湖町に入ります。「とうや・水の駅前」で補給を受けた後、洞爺湖を時計回りにほぼ半周して壮瞥町から伊達市大滝区に駆け抜けます。さらに、国道453号、国道276号を疾走し、支笏湖畔を反時計回りに半周して国道453号(通称：真駒内国道)の千歳市・恵庭市境界手前(標高564m)で最後の山岳ポイントを競った後、札幌市内に入ります。札幌市南区の「芸術の森」前を通過し、真駒内公園(セキスイハイムスタジアム前)で大会史上最長となる219kmのコースを完走し、節目のツール・ド・北海道30回大会の覇者が決定する感動のシーンを迎えます。

## 3 市民ロードレース

### ■ 開催月日

9月2日(金)

### ■ 開会式

・ Aコース、Bコース

9月2日(金) 7時30分～7時50分 倶知安町「ヒラフスキー場前特設会場」

・ Cコース

9月2日(金) 8時00分～8時20分 蘭越町名駒「小樽開建水防資材庫前特設会場」

## ■ コース区分

国際レースで使用するコースの一部を使用し、A、B、Cの3コースに分けてロードレースを行います。

【Aコース】(124km)

倶知安町(S: ヒラフスキー場前)～共和町～蘭越町～ニセコ町～倶知安町(F: ヒラフスキー場前)

【Bコース】(92km)

倶知安町(S: ヒラフスキー場前)～共和町～蘭越町～ニセコ町～倶知安町(F: ヒラフスキー場前)

【Cコース】(44km)

蘭越町(S: 名駒・小樽開建敷地前)～ニセコ町～倶知安町(F: ヒラフスキー場前)

## ■ コースの概要

市民ロードレースは、A・Bコースが国際レースと同じ倶知安町(ヒラフスキー場前)からスタートして、共和町、蘭越町、ニセコ町を経てスタート地点の知安町(ヒラフスキー場前)でフィニッシュします。Aコースは、国際レース第3ステージのコースを一部短縮したコースを使用する124kmのコースで、本格的なロードレースの醍醐味を体感することができます。Bコースは、Aコースの一部をショートカットした92kmのコースです。A・Bコースとも新見峠(標高747m)を越えなければならず、完走するためには最大の難所となります。Cコースは蘭越町名駒をスタートし、ニセコ町を経て倶知安町までのアップダウンが続く、44kmのコースです。



どのコースも国際レースと同じ、倶知安町(ヒラフスキー場前)をフィニッシュ地点に設定しており、一流選手のゴールスプリントを間近で観戦することができます。

## ■ 参加募集期間

6月1日(水)から7月15日(金)まで

※募集要項は、5月下旬に(公財) ツール・ド・北海道協会ホームページに掲載します。

(URL) <http://www.tour-de-hokkaido.or.jp>

## 4 コース図

コース図は、当協会ホームページの「コース情報」及び「市民レース概要」にアップします。

問い合わせ先

札幌市中央区北5条西6丁目第二道通ビル5F

公益財団法人ツール・ド・北海道協会

TEL 011-222-5922

FAX 011-232-4604